

# やまなみ



比田交流センター便り  
R5・3月発行 第84号

安来市広瀬町西比田 1708-4

Tel (Fax) 34-0001

E-mail: hida-s@city.yasugi.shimane.jp

## 大会出場おめでとう！祈健闘！！

3/24(金)~3/26(日) 比田体育協会

第47回全国高等学校選抜フェンシング大会  
原 健也くん(サーブル)

松江工業高等学校フェンシング部

3/30(木)~3/31(金)  
第8回全国ミズノカップジュニア選抜  
ソフトテニス選手権大会

荒川大空くん 足達俊介くん 足達亮介くん  
藤原暖太くん 野尻高志くん

広瀬中学校ソフトテニス部

4/15(土)  
小学生バドミントン中国選抜大会  
伊田 柑南さん

安来市広瀬町比田小学校

## 3/4(土)軽スポーツ大会

主催:比田すこやか21・比田交流センター



3/5(日)ラージボール卓球大会

## 短歌・俳句・川柳一緒に詠みませんか？

・日々の生活で、ふと心に湧き上がってきた想いを表現してみませんか？

### 【活動内容】

- ・月に一度(奇数月)の集会日までに作った作品を比田交流センターへ提出。
- ・集会日に会員で作品を詠み合います。
- ・新聞などへ応募することも…。

【申込・問い合わせ】

・比田交流センターへ

## 五日会

### ご寄付のお礼

- ・比田交流センター
- ・比田地区社会福祉協議会
- ・安来市社会福祉協議会

香典返し 重栢 雅昭 様

- 〔・比田社会福祉協議会〕

香典返し 岩田 光司 様

香典返し 中前 忍 様

ありがとうございました。

## 令和4年度人権標語コンクール入賞作品 〈優秀賞〉

ありがとう いっぱいって いいもち	1年生
だいじょうぶ やさしい声かけ 気もちいい	2年生
だいじょうぶ ぼくはいつでも たすけるよ	3年生
うれしいな 仲良くすると ほっとする	4年生
だいじょうぶ あなたのそばには やさしさたくさん	5年生
見回せば たくさん見つかる いいところ	6年生

### 〈佳作〉

ありがとう うれしくなるよ そのことば	1年生
げん気いっぱい みんなであそぼう ひ田小学校	1年生
ひ田小は やさしく声かけ にっこにこ	2年生
ありがとう 教えてくれて うれしいな	3年生
だいじょうぶ 声かけてくれて ありがとう	3年生
だいじょうぶ 声をかけてくれて うれしいな	4年生
比田小は チャレンジするよ 楽しいな	5年生
コロナでも みんなの声が 笑顔になる	6年生



## 2/21(火) 移動販売車 ひだまり号出発式

約40人の方が  
見送りに来てくださいました！

水・木曜日/西比田・梶福留地区

金曜日/東比田地区にて運行中です♪

**【連絡先】0854-26-4010**

(えーひだカンパニー株式会社)



# 住民大会

1/28(土) 約80名 【比田地区小さな拠点づくり推進協議会】

～みんなで支え合い 安心して楽しく暮らせる 比田を目指して～

内容 ①令和2年度からスタートした、拠点づくりの取り組み状況報告

②講演 安来市防災課 ③追神・市原・町自治会から防災マップの取り組み報告

当日の資料を比田交流センター、東比田交流センターに置いてます。ご自由にお持ち帰りください。参加者の方から、記述でたくさんのコメントをいただきました。交流センター便りをお借りし、複数回にわたってお伝えします。

今回は②、③についてのコメントをご紹介します。(一部抜粋)

★安来市、比田地区の防災意識の高さに驚いた。運動会の競技に取り入れるなど、どう興味を持って取り組んでもらうか、自分事にするかという部分が難しいと感じた。

★よく災害時には「中学生が重要」(地域内にいて体もある程度できて動ける)と言うが、比田のように中学生が地域外に出ている場合は小学生が重要となるなど気づかされた。また、3自治会が隣接しているように、前例のこの会のような共有はとても重要と感じた。

★「自分は大丈夫」という事はない。何かしら事前に来ること、準備できることは進めないといけない。いざの時の共助が大事となる。自分だけ良ければではなく、みんなが安全に避難、安心して過ごせること。日頃から地区の皆さんと会話するようにしたい。

★大変素晴らしい活動が展開されていて感心した。今後は全自治会への広がりを期待する。

★年齢が高くなるにつれ、不安要素が高まる。参加して再確認出来た。

★地震や風水害への備えが判って良かった。3自治会で防災について取り組んでいて良かった。

★100年に1度の災害などというが、それが明日なのか明後日なのかあるいは100年後かも知れない。訓練の積み重ねが必要と思う。

★避難指示が発令された時は自身の周辺の危険個所を把握した道順で交流センターに避難するが、近所の高齢者の方を把握し一緒に避難できるようにしておくことが大切だと思った。

★自分自身も比田地区は災害のない地域であるという認識が強くなり、改めて防災意識を高める場となった。ありがとうございました。

★3自治会ともしっかりと取り組んでおられ感心した。自分の自治会も高齢化率は高いのでいざというとき安全に避難できるよう備えていきたいと思った。

★市原の個別支援計画まで作成されているのは、安否確認の要【かなめ】だと思った。

★モデル3自治会についてスタートは同じ地図からでしたが各自治会によっていろいろなマップが作成されており非常に面白いと思った。これが各自治会に広がるとそれぞれの自治会で違うマップができあがっていくのではないかと思う。これからはできあがったマップが定期的に更新される仕組みが課題となってくると感じた。

★比田地区のひざードマップ作りは地区住民の防災意識を高める大変良い取組だと思う。各地区でできたマップを周知し、災害への備えをおこなって行けたらと思う。定期的な防災訓練が定着してくるといい。

★災害に備えて備蓄が必要だと思っているが、思うだけで用意が出来てないのでやろうと思った。災害時の家族との連絡方法も考えていなかったのだから、家族で話し合いたいと思った。市原自治会の緊急連絡先、安否確認、支援体制など家でも手本としたい。